



令和3年2月2日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校

文責：校長 柿林 浩彦

第30号

全国学校給食期間

学校給食は、明治22年に山形県の小学校で始まりました。はじめは、学校にお弁当を持ってくるできない子どもたちのために、おにぎりとおかず（塩鮭と漬物）を出したそうですが、昭和7年頃から学校に来られない子や体の弱い子を救うために、全国各地で学校給食が始まりました。

戦争で食べ物がなくなったため学校給食が中止された時期もありましたが、戦争が終わり、食べ物が無い日本のために外国から送られた缶詰や脱脂粉乳を使って昭和21年12月24日から給食を再開することができました。これを記念して「学校給食記念日」が定められましたが、12月24日は冬休みと重なるため、1ヶ月のばして1月24日を給食記念日、24日から30日の1週間を「全国学校給食週間」としています。

この期間中、蒲刈学校給食調理場は、世界の料理や「ひろしま給食」、呉市の郷土の味等、特色のある給食を提供していただきました。そして、毎日、生徒によるお昼の放送によるそれぞれの献立について、説明をききながら、大変おいしくいただくことができました。石丸先生、そして、蒲刈学校給食調理場の皆様本当にありがとうございました。



1/25 (月)

中国：拌三絲（バンサンスー）
麻婆豆腐



1/26 (火)

アメリカ：ハンバーガー
コーンチャウダー



1/27 (水)

ひろしま給食100万食プロジェクト
パワーをつけろ！スタミナがんす丼



1/28 (木)

ひろしま給食100万食プロジェクト
広島しモンソース入りパンナコッタ



1/29 (金)

呉市：もぶりごはん
長浜のうどん豆腐、呉の肉じゃが

薬物乱用防止教室を実施しました

1月28日（木）5校時、全学年対象に薬物乱用防止教室を行いました。講師には、学校薬剤師である竹内ひとみ先生をお迎えしました。薬物乱用防止教室は、中学校や高等学校では毎年1回は行うよう計画されており、竹内先生には毎年内容を変えながら行っていたいております。今年は、新型コロナウイルス対策で眼を酷使する場面が多いことから眼についての説明、薬物として大麻を取り上げての説明、また、DVDを視聴するなどの内容で実施していただきました。生徒の皆さんは人ごとではなく、自分にも関係するかもしれないという当事者意識をもって聞いてくれたと思います。

竹内先生、ありがとうございました。



☆生徒の感想より☆

- ・大麻は10～20代で使う人が増加していることが分かりました。学校の先輩や身近な人にさそわれたり、SNS、インターネット上で購入したりするケースが増加していることが分かりました。だから、「買わない」「使わない」「だまされない」を心掛け、自分自身を守っていく力が必要になってくるということを学びました。また、大麻は見ただけでは大麻と分からないものに加工させているケースがあるため、危ないところには近づかないことが大切ということが分かりました。私は、自分を守るためにも、しっかり考えながら行動していきたいと思いました。
- ・ドライアイにならないように、今日教えてもらったことを意識して予防したいです。また、コンタクトになるかもしれないので、コンタクトの使用にも注意したいです。